

2019年11月30日(土) 12月1日(日)

## 大福山(292m)・忘年会・養老渓谷①

～Report by 高橋(雄) 写真はご参加の皆さん～

房総の養老渓谷は、「日本一遅い紅葉」として近年売り出している。今年の忘年会はその紅葉を目当てに計画し、養老渓谷温泉の旅館、「川の家」を「クマさん会」23名で借り切って行った。

初日に近くの大福山にハイキングをして、夜は忘年会、翌日は養老渓谷ウォーキングというプランである。

6月から計画しはじめたが、その後、養老渓谷は9月9日に台風15号、10月12日に台風19号に襲われた。そのため当初予定していたハイキングコースは土砂崩れで閉鎖されたり、養老渓谷駅までの小湊鉄道も途中駅までしか行けず、残りの区間は代行バスでの運行となった。ハイキングコースや、アクセス時刻の変更が度重なり、結果、行程表はver1→ver8まで8回も変更を余儀なくされた。

さらに、追い打ちをかけるように当日にかけてもいくつかの事件が・・・

参加者は、(敬称略) 熊本、伊能、半澤夫妻、能勢、堀、池戸、安部、岡部夫妻、吉松、高橋(文)、石井、根岸、田上、菊池、塩野、川島、布目、大瀧、小野寺、中島、高橋(雄)の23名。

(もう一人、山田さんも参加予定だったが、転倒して背中を痛めたそうで、前日キャンセルとなった) (事件①)

### 【11月30日(土) 大福山】

初日、11月30日の天候は快晴。朝の冷え込みで紅葉が進んでいるのではないかと期待が高まる。

東京方面から総武線快速で五井駅9:01着、五井駅からは9:16分発の小湊鉄道に乗り換えて養老渓谷へ向かう。

総武線快速で移動中、8:50頃、あと五井駅まで10分というところで熊本さんから電話がかかってきた。

「小野寺さんが乗り遅れます。LINEを見てください」とのこと。

私のスマホではLINEは着信音が出ないので自分でLINEを開くまでは気が付かない。

LINEを開いて見たら、小野寺さんの「乗り遅れました。ごめんなさい」という一報が7:33に発信されており、その後、熊本さん、中島さん等と小野寺さんとの間で20数回もメッセージがやり取りされていた！

いろいろ調整した結果、小野寺さんは大福山ハイキングはパスし、下山後のタクシー組が養老渓谷駅に寄って、遅れて13:27に着いた小野寺さんをピックアップして宿の「川の家」に向かうことになった。(事件②)



9:01 小野寺さん以外の22名は五井駅着。  
ここで小湊鉄道9:16分発に乗り換え。

小湊鉄道はsuicaが使えず現金で切符を買う。五井～養老渓谷間運賃は通常は片道1,280円、往復2,250円だが、さらにお得な乗車券で、二日間有効な「五井～養老渓谷間往復割引乗車券」1,840円がある。

これを買い求めたのだが、座席に座って渡された切符を見たら、「1日フリー乗車券」と書いてあるではないか！これでは明日の帰りは使えない。

この「1日フリー乗車券」も同じ金額1,840円だったので、切符売り場のおばさんが間違えたのだ。

9人同様だったのであわてて切符売り場に戻って発券しなおしてもらった。(事件③)

ともあれ、全員座ることができ、五井駅を定刻に発車。





車窓から富士山が見えた。  
沿線の家ではところどころ台風の被害で屋根にブルーシートがかけられているところもあった。



10:00 養老渓谷駅より 5 駅手前の里見駅着。  
ここから先の鉄道はまだ不通のため、代行バスで向かう。



10:30 代行バスで養老渓谷駅着。



ここで、塩野さん、川島さんは足に不安があるため、熊本さんが引率して大福山の山頂までタクシーで上る。あの 19 人は宿の送迎バスで登り口の梅が瀬茶屋駐車場まで送ってもらい、山頂へ歩いて登る。



ハイキングに不要な温泉セットや、宴会用に持参した酒類等は宿のバスに預けて身軽にすべく、荷物を仕分けした。  
また、宴会用の缶ビールやおつまみ類は、養老渓谷駅近くの商店にあらかじめ頼んでおいた。それも宿のバスに積んで宿に運んでおいてもらうため、若手数人で商店に受け取りに行つた。



送迎バスを待つ間、駅前広場で売っていた鮎の塩焼きを食べる人も。



10:47

熊本さん、塩野さん、川島さんは予約しておいたタクシーで大福山山頂に向かって出発。



残りの 19 名は、宿の送迎バスを待った。送迎バスは乗車定員 22 人と聞いていたので、一度に全員が乗れるはずであった・・・  
ところがやってきた送迎バスは 8 人乗りのワゴン車！ **(事件④)**

宿では 22 人乗りのバスはあるものの、手違いで今回は用意できなかつたらしい。

梅が瀬渓谷駐車場まで 2 回に分けてピストンすること。それでも 19 名は乗りきれないで、宿の人が駅前の観光協会に応援を頼み、観光協会のワゴン車も出してもらった。



10:55 まず宿のワゴン車と観光協会のワゴン車で私を含む 15 人が梅が瀬渓谷駐車場着。そこで私はふと不安になった。

これから登る大福山の頂上ではみんなで大福を食べる予定で、その大福も商店に頼んでいたが、その大福を商店からもってきたかどうか、ドタバタしていて覚えてない。

まだ駅にいる後続の吉松さんに電話で確かめたら、案の定、持ってきてない！ **(事件⑤)**  
我々が駅を出発した後、商店のおばさんが追っかけて持ってきてくれたそうだ。(\*\_\*;

11:07 ピストン後続の4人も梅ヶ瀬茶屋駐車場に到着し、19人でスタート前の集合写真。  
背景はハイキングコース案内板と黄葉。



当初の計画は左の写真で現在位置から左側の梅ヶ瀬渓谷コース（黄線）だったが、台風による崩落で通行止め。そのため右側の緑線の舗装道路 3.1km を大福山まで往復する。

11:09 大福山に向け歩行開始。予定では 10:50 スタートだったので 20 分遅れだ。



タクシーで先行して山頂についていると思われる熊本さんに後続組のスタート遅れを伝えようとした電話を入れた。が出ない！LINE に「熊本さん電話に出てください」と入れた。すると、川島さんから電話がかかってきた。なんと、熊本さんのスマホは駅で宿のバスに預けた荷物の中だそうだ！（事件⑥）以後は川島さんの電話で連絡をとりあった。



道の両側はカエデが多い。しかし紅葉はまだ少し。紅葉のトンネルを期待していたがまだ早かった。今年の紅葉はだいぶ遅れているようだ。



でもなんとか赤い木を見つけてパチリ。



11:13 タクシー組の熊本さん、塩野さん、川島さんは大福山展望台に着いていた。



11:32 後続徒步組は台風で路肩の崩れたところを通過。この辺りの岩は砂岩が多く、もろくて崩れやすいようだ。台風の豪雨で被害が大きかった要因の一つか？



11:40 後続組は絵になる紅葉を見つけてパチリ。青空によく映える。

11:40 先行組は山頂近くの東屋で昼食中





12:00 徒歩組 19名が大福山山頂手前の「梅が瀬渓谷駐車場」に到着。テーブルやベンチがたくさんあるのでここで昼食。

さて、私も食べようと思ったら、ない！  
昼食用のパンは駅で宿のバスに預ける荷物の中に入れてしまっていた！（事件⑦）

中島さん、伊能さん、石井さん等から昼食を分けていただきてお腹を満たした。（\*\_\*）

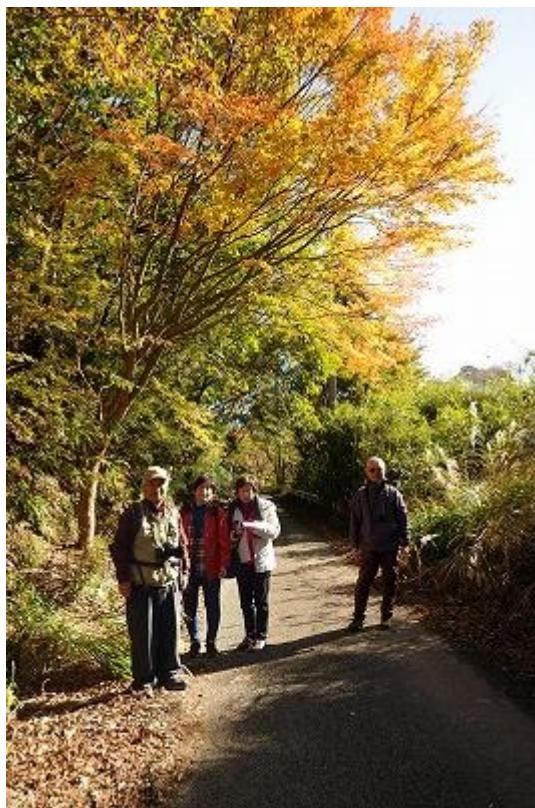
12:16 昼食後、熊本さん、塩野さん、川島さんにも下りてきてもらって全員で集合写真。  
バックは例年なら一面に見事に紅葉している・・はずだったがご覧の通り。ちょっと残念。



さて、みんなそれぞれ手に何か持っていますが、わかります？

大福山に因んだ「大福」でした。  
山頂で食べる予定で、全員が揃ったので配つたが、フライングして食べ始めた人も・・





←12:25 集合写真を撮った後、熊本さん、塩野さん、川島さんと、伊能さんも心臓がバクバクする（**事件⑧**）とのことで、4人で先に下山開始。

梅が瀬茶屋駐車場まで下りてタクシーに乗り、養老渓谷駅に寄って遅れてくる小野寺さんをピックアップして宿に向かう手はずだ。

↓後の18人は大福山展望台へ進む。



大福山展望台に上がり、みんな口をあんぐり開けて大福をほおばる。↓  
これが本日昼のメインイベントだ！





大福山展望台で大福を食べた後は頂上の白鳥神社へ。急な石段を 84 段登る。



12:55 大福山 山頂 白鳥神社（標高 292m）着。山行の安全と健康長寿を祈念して参拝。



山頂からは東京湾越しに横浜や東京のビル群を望むことができた。

13:05 下山開始。

登り開始は 20 分遅れだったが、ここで当初の予定時刻に追いついた。





下りはみんな早い。とっこ降りて、

13:45 梅が瀬茶屋駐車場にゴール。  
なんと予定 70 分のところ、40 分で下りた。

駐車場ではぎんなんや梅干し、むかごなどを売っていた。  
宿に電話して送迎バスに早く来てもらった。  
今度はワゴン車ではなく予定通りの 22 人乗りのバス。全員乗って、宿に向かった。



そのころ、先に下りていた熊本さんたちは、  
13:30 に梅が瀬茶屋からタクシーに乗り、養老渓谷駅で小野寺さんをピックアップして宿の「川の家」に到着後、近くの中瀬遊歩道を散策していた。

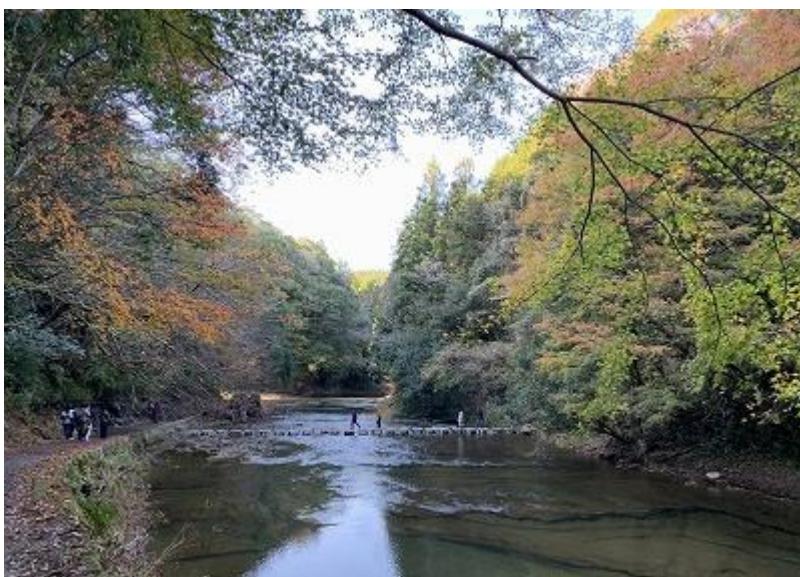
(川島さんは養老渓谷駅で小野寺さんとエンジして駅に残り、後続組の宿の送迎バスが駅に寄ってピックアップした。)

14:05 後続 18 人も「川の家」着。

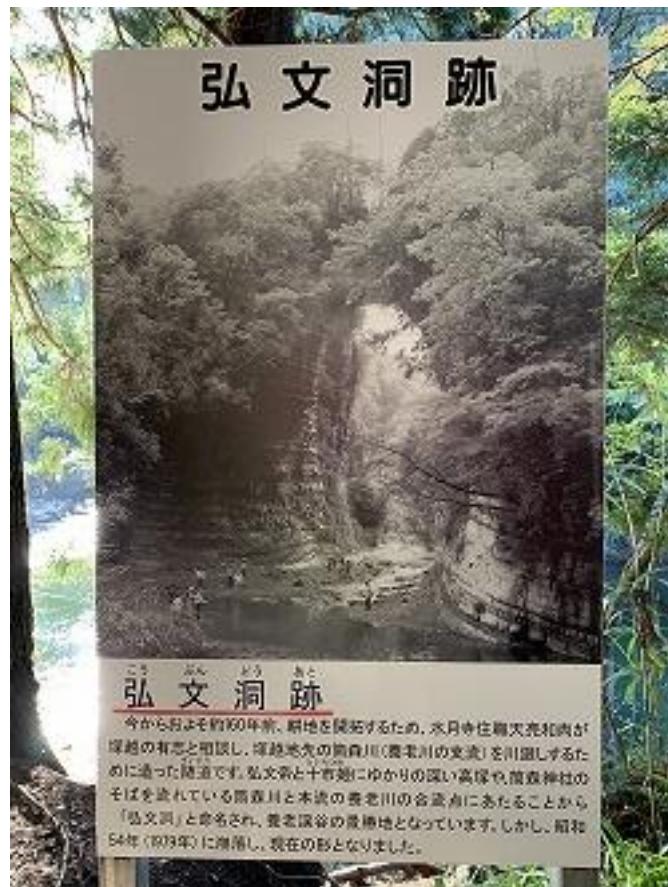
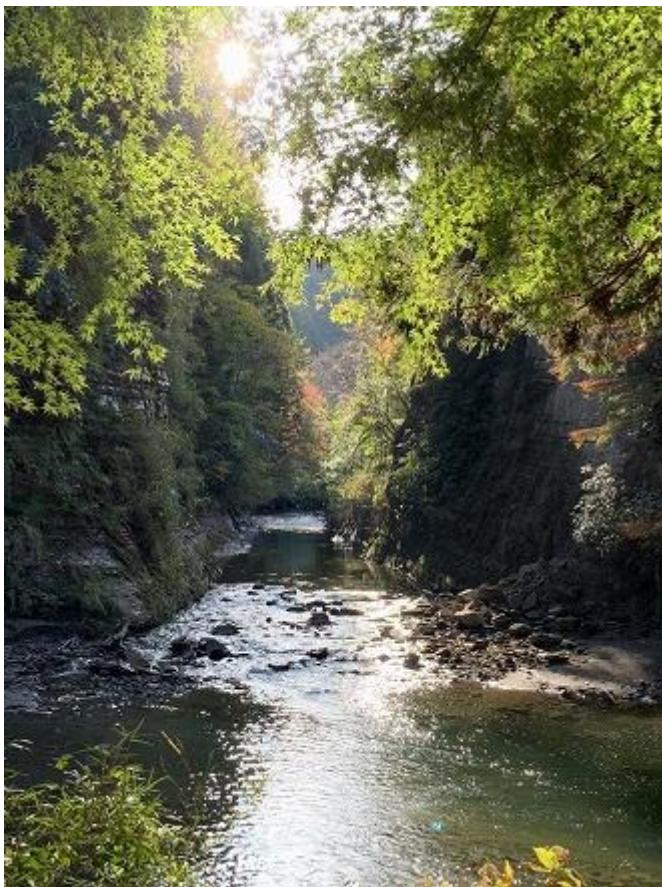
川の家のすぐ下が養老川だ。ザックを玄関に置いて、養老川の中瀬遊歩道に向かった。



養老川沿いの中瀬遊歩道を飛び石で対岸に渡り、弘文洞跡へ。



弘文洞は昔はアーチがかかっていたが、アーチが昭和 54 年に崩落したため、現在は「跡」となっている。



弘文洞跡から先の遊歩道は台風で崩壊しており通行止めになっていた。「川の家」に引き返してチェックイン。



川の家の温泉は黒湯で、つるつるしていて実にいい湯だ。

<http://www.kawanoya.net/onsen.php>

しかし風呂場は狭く、一度に4人ぐらいしか入れない。18時の夕食までの間、年配者から先に、交替で入る。

15:50 大部屋で熊本さんの音頭で乾杯！

持ち込んだお酒、おつまみ類、柿、ミニトマト等々で宴会は～延々～と盛り上がる。



小野寺さんがyoutubeにアップした2019年振り返りスライドを上映。

<https://youtu.be/M9SaVLutrMQ>



その後はクマさん会ホームページの初期のころのレポートなどを肴にしてお酒が進む。



18:00 夕食。



最年少、中島さんの音頭で乾杯



料理はお刺身などの一般的なメニューに加え、うなぎ、鮎の塩焼き、イモブタしゃぶしゃぶなどが出てお腹いっぱい・・・



イモブタしゃぶしゃぶ





## 20:00 忘年会本番スタート

(以下各**太字**をクリックすると、リンクしている詳細を見ることができます。)

### **1、今年度の成果** . . . (熊本さん)

2019年 クマさん会

今年度の成果

**平成から令和へ**



### **2、2019年クマさん会を振り返る** (石井さん)



### **3、来年登りたい山** . . . (熊本さん)

**2020年に登りたい山**

アンケート結果から



### **4、カラオケ大会** . . . (吉松さん中島さん)



「川の家」は今夜はクマさん会で貸し切り。他に客はなく、川と山に囲まれた一軒家。全く誰に気兼ねすることもなく存分に楽しめる。



4チームに分かれて競い、全員が歌い、**「ウィットに富んだ表彰状** (吉松さん) 授与式もあって、珍しくお酒も飲まず (飲み飽きた?)、寝る人もなく熱唱し、楽しんで、23:30 お開きとなりました。

紅葉の見ごろにはまだ早かったのはちょっと残念でしたが、いくつかの予期せぬことも無事に乗り切って、晴天に恵まれ、夜は忘年会とカラオケ大会で大いに盛り上がり、実に充実しきった一日でした。  
お休みなさい . . . z z z z z GoGaGaaaaa . . . 夜中はいびき大会( ; \_ ; ) . . .